

加東市立滝野南小学校
学 校 通 信

南小便り

一昨年前まで市内の小
学校の校長をされていた
大久保雅（みやび）先生に
先々週と、先週、2 回来て
いただいて、子どもたちが
「**絵手紙**」を教えていた
だきました。とっても楽し
い作品ができあがりました。
お世話になった地域の
方や、たくさん作った子は友だちや親戚の子に送ったりするよう
です。きっと、喜ばれると思います。

大久保先生は、何年か前には、南小学校で担任や教頭もされていた
ようです。校長室から、運動場で遊ぶ子どもをなつかしそうに眺めていら
っしゃいました。そこへ、教えてもらった子どもたちが、廊下から顔を



職員が、自分が出会った、60 歳から水
泳を始めて 70 歳になってもバタフライ
を泳ぐおばあさんの話をしました。自分
のめあてに向かって**挑戦しよう!**と。



代表委員会。6 月の**生活目標**があまり
守れなかったので、7 月も続けてそれにす
るかどうかで、真剣に話し合いました。

その鍵は職員しか開けてはいけないことになっています。鍵を開けてその木に 2 人で近づ
いていくと、何人かの子どもたちがフェンス越しにに集まってきました。男の子が「ヒラ
タヤと思うねんけど。」という、周りの子たちが、「小クワやろ。」とか「クワタガかなあ？
ただの虫やろ。」などと口々に話しています。小さなクワガタ？が木の穴の奥の方に見えて
います。男の子が手を入れて取ろうとしましたがなかなか手が届きません。そのとき、取
り巻きの一人が、「その穴は、嘘をつく人が手を入れると塞がってしまって抜けなくなる穴
やで～」と、どこかで聞いたようなことを言いました。……「クワガ
タと違うかもしれへんな。」「もうちょっと外に出てくるまで待ってこか。」
ということになりました。それにしても、物知りな子がいるものです。し
かも、このタイミングでその話を出すとは！わたしは、古い映画の一場面
を思い浮かべました。きっと、保護者の皆さんはご存じないと思います。

子どもたちが、登校中に作った**笹船**ふたつ。あり
がとう。交通安全の願いを乗せて流しましょう。



7 月の朝の歌は「ほしまつり」。今週の月曜日に、初めて全校生
で歌いました。まだ、練習は少ししかしていないはずですが、きれ
いな声で大きな口を開けて歌っていました。練習が進むと二部合唱
になるようです。みんなの歌声で七夕の夜が晴れるといいですね。



絵
手
紙。

ス
イ
カ
が
完
成
、
次
は
か
ぶ
り
つ
く
顔
で
す。

